

価値創造への思い

豊かな「食」を提供することにより、心身共に「健康」をお届けすることを、創業以来、変わらず追求し続けてきました。大地の恵みである穀物を余すことなく生かし、安全・安心な「食」を、人々に提供しています。

過去

『農産報国』

昭和初期の日本は、慢性的な食糧不足と、それに追い打ちをかけるような凶作が続き、極めて厳しい状況にありました。「食を通じて日本を豊かにしたい。そのためには農業の繁栄が必要だ」という創業者の強い思いが、昭和産業グループの原点です。

現在

事業活動を通じたマテリアリティへの取り組み

〈2023年度からの新しいマテリアリティ〉

1. 食を通じた事業活動での貢献

- ① 安全・安心で高品質な食の提供
- ② 消費者の健康と多様化するニーズへの貢献

2. 穀物を生み出す大地とその環境の維持

- ③ 地球環境への配慮

3. ステークホルダーとのエンゲージメント推進

- ④ 人財活用
- ⑤ 地域社会との共生
- ⑥ サプライチェーンと連携した活動
- ⑦ ステークホルダーとの信頼関係構築

マテリアリティ改定について詳しくは P.53



マテリアリティと連動する「中期経営計画 23-25」

〈ステークホルダーへの価値提供〉

お客様

- 安全・安心で高品質な製品の提供
- 品質管理の向上とトレーサビリティの確保

地球環境

- CO₂排出量削減
- 廃棄物削減
- 再生可能エネルギーの利用

従業員

- 人権・多様性の尊重
- 人財育成
- ワーク・ライフ・バランスの推進

地域社会

- 工場・拠点周辺地域への貢献・交流
- 食育への貢献

お取引先
(仕入れ・委託先)

- 協働による品質向上
- 労働安全の確保・労働環境の整備

株主・投資家

- 継続的・安定的な利益還元
- 企業価値の向上

NGO / NPO

- 寄付による支援
- 協力・協働を通じた活動支援・協賛

行政

- 公的課題解決に向けての諸政策への協力
- 災害時のための備蓄

未来
2025

長期ビジョン

全てのステークホルダーに満足を提供する
“穀物ソリューション・カンパニー Next Stage”

長期ビジョンについて詳しくは P.30